



NANASE DAM-DATA

施設名: ...
 構造: 鉄筋コンクリート
 計測器: 浸透量計測、浸透流観測孔、監査廊
 観測項目: 鉄筋計、心算計

詳しいデータはコチラ <http://www.qsr.mlt.go.jp/otagawa/>

施設概要

ダムは点検・維持管理のための地下通路。内空断面は、高さ2.5m・幅2.0m。監査廊の総延長970m、高さは94.8m、階段は1100段にのぼる。試験室水中は毎日巡回。地震時は震度4以上または地震動25gal以上の揺れが発生すると、臨時の点検巡回を実施する。水力発電の送電線、放流設備の動力配線、観測計器の通信配線、照明の電力配線なども通る。

ランダム情報

ロックフィルダムは、ダム躯体内に埋設物を設けることが出来ないことから、基礎岩盤内に監査廊が造られる。ダム基礎岩盤を掘り込んで造る「オープンカット式」を採用。

大分河川国連事務所 ダム管理課 202303

NANASE DAM

設置数	フィル堤体部 14箇所、洪水吐部 6箇所
孔仕様	ボーリング孔（深度7m、削孔径φ66mm）
構成	配管（SGP管φ50mm）、ボールバルブ、ブルドン管式圧力計

施設概要

ダムの基礎地盤における貯水池からの浸透流の状況を確認するための計測設備。ダム堤体の基礎岩盤内に設けられた監査廊内において概ね30m間隔で設置され、基礎地盤内へ深さ7mのボーリング孔を設け、配管を接続して湧出する浸透水の量と圧力を計測している。

ランダム情報

2021年3月発行の施設カード：監査廊で紹介されており、監査廊の中に設置された施設のひとつ。浸透水量及び浸透水による水圧を定期的に観測し、ダムの基礎地盤における異常の有無を確認している。